

文芸コーナー

小型家電をリサイクルしよう



ほっとレポート

広報レポーター：山田 一夫 (木刈)

日本全国で一年間に使用済みとなる小型家電は65・1万トン、含まれる有用な金属は27・9万トン(金額にして844億円)になると環境省は推計しています。



個人情報を含むものはデータを削除

でも「もったいない」話ですが、ほとんど廃棄物として埋め立て処分されてきました。平成25年に、先の4品目を除く家電が対象となり、含まれる有用な金属の再資源化と不燃ごみの減量化を図るため、小型家電リサイクル法(通称)が施行されました。

用済小型家電の回収が始まりました。白井市、栄町を含め組合管内52の公共施設に「小型家電回収ボックス」を設置し、各家庭から使用済み家電を持ち込んでいただきます。

として再生するとともに、鉛などの有害物質もしっかりと処理します。市の担当者は「家電などの処分では無許可の回収業者を利用しないでください」と話していました。

パソコンが眠っていないでしょうか。思い出があり捨てられないものや、電源が入らないものはありませんか。リサイクルで、再び製品としてよみがえらせるため、この際思い切って「断捨離」してみませんか。

リサイクル情報広場

掲載情報は平成28年2月25日現在 回収できる大きさは横30cm×縦15cm未満

- ◆ゆずりませ情報 ①五月人形②洋服タンス③一面鏡台④学習机3台⑤ダイハツミラ純正スタッフドレスタイヤ⑥シングルベッド⑦4段チェスト

- ◆さがしています情報 ①補聴器②木刈小学校体操服上下③しおん幼稚園女子制服上下④鋳物製の羽釜⑤スピードラーニング初級16巻テキスト付⑥布佐台幼稚園男子夏制服⑦ソファ(3人掛け)⑧ダイニングテーブルセット

※詳しくは市ホームページをご覧ください

毎月5日は「ノーレジ袋デー」です。お買い物にはマイバッグを持参しましょう。

短歌

加藤恵美子選

電車にて左右に転がる空缶を女子高生が拾ひ降りゆく
山茶花の根元に女兒の隠れゐて散歩のわれに口止めをする
成人の日に男の孫より腕を組み羽織袴の写メール届く

俳句

田口 三石選

節分の利根はさざ波日は優し
人も吾もみんなが若い春の夢
国境は悲しいものよ冬銀河
節分や数珠操るごとく豆選ぶ
二人居の一人のぬい寒い寒さかな

<短歌・俳句をお寄せください>
一人一首または一句で未発表のもの。毎月20日締め切り(必着)です。投稿は、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を明記の上、広報広聴課広報広聴班まで。

施設がいと



広報レポーター：田中 謙一郎(小林浅間)

印旛消防署



市の南東部に位置する印旛消防署

話を伺いました。署の敷地は約3・6千㎡、敷地の一角には18mと7mの訓練塔があり、署長含め総勢23人が2班の交代制で24時間365日の勤務体系で活動しています。

活動範囲は印旛地区(旧印旛村)の広大な管轄区域であり、救急・火災・救助・災害などに動きます。指揮車、水槽付消防ポンプ車、高規格救急車を配備し、なかでもポンプ車は、少ない水量と薬液を混合させて消火する圧縮空気泡消火装置などを備えた高機能装備車です。

緊急出動を最優先しますが、それ以外の日常勤務は、災害予防や減災のために企業や学校などへ立入検査を行ったり消防訓練や地元消防団との訓練、救急講習、各種



▲1,500Lの水を積載し薬液を活用した消火活動が可能にした高機能装備車



▼救命資機材を搭載した高規格救急自動車

最後に樋関署長・高橋副署長からのメッセージ「積極的に防災訓練に参加したり住宅用火災警報器を設置したりするなど、日ごろから防災意識を高めてください」とのことです。これを機に、あらためて防災について考えてみませんか。
印旛消防署(☎0119)。